



## SDM テンプレートの設定

- [SDM テンプレートに関する情報 \(1 ページ\)](#)
- [SDM テンプレートの設定方法 \(1 ページ\)](#)
- [SDM テンプレートのモニタリングおよびメンテナンス \(3 ページ\)](#)
- [SDM テンプレートの設定例 \(4 ページ\)](#)
- [SDM テンプレートに関する追加情報 \(5 ページ\)](#)
- [SDM テンプレートの機能履歴 \(5 ページ\)](#)

## SDM テンプレートに関する情報

SDM テンプレートを使用してシステム リソースを設定すると、特定の機能に対するサポートをネットワーク内でのデバイスの使用方法に応じて最適化することができます。一部の機能に最大システム使用率を提供するようにテンプレートを選択できます。

Cisco Catalyst 9200 シリーズ スイッチは、次のテンプレートをサポートしています。

- Advanced
- VLAN

SDM テンプレートに変更を加えたらすぐにシステムをリロードすることを推奨します。テンプレートを変更し、システムを再起動した後、**show sdm prefer** 特権 EXEC コマンドを使用して、新しいテンプレート設定を確認できます。**reload** 特権 EXEC コマンドを入力する前に、**show sdm prefer** コマンドを入力すると、**show sdm prefer** コマンドにより、現在使用しているテンプレートおよびリロード後にアクティブになるテンプレートが表示されます。

## SDM テンプレートの設定方法

### SDM テンプレートの設定

SDM テンプレートを使用して機能動作を最適にサポートするには、次の手順を実行します。

## 手順

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ 1	<b>enable</b> 例： Device> <b>enable</b>	特権 EXEC モードを有効にします。 パスワードを入力します（要求された場合）。
ステップ 2	<b>configure terminal</b> 例： Device# <b>configure terminal</b>	グローバル コンフィギュレーション モードを開始します。
ステップ 3	<b>sdm prefer {advanced   vlan}</b> 例： Device(config)# <b>sdm prefer vlan</b>	SDM テンプレートを選択します。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• <b>advanced</b> : スイッチをアドバンスドテンプレートに設定します。</li> <li>• <b>vlan</b> : ハードウェアでのルーティングをサポートしないスイッチでの VLAN 設定を最適化します。</li> </ul>
ステップ 4	<b>end</b> 例： Device(config)# <b>end</b>	特権 EXEC モードに戻ります。
ステップ 5	<b>reload</b> 例： Device# <b>reload</b>	オペレーティング システムをリロード します。 システムの再起動後、 <b>show sdm prefer</b> 特権 EXEC コマンドを使用して、新しい テンプレート設定を確認できます。 <b>reload</b> 特権 EXEC コマンドを入力する 前に、 <b>show sdm prefer</b> コマンドを 入力すると、 <b>show sdm prefer</b> コマンドにより、現在使用している テンプレートおよびリロード後に アクティブになるテンプレートが 表示されます。

# SDM テンプレートのモニタリングおよびメンテナンス

## SDM テンプレートの確認

SDM テンプレートをモニタおよびメンテナンスするには、次のコマンドを使用します。

コマンド	目的
show sdm prefer	使用中の SDM テンプレートを表示します。
reload	スイッチをリロードして、新しく設定した SDM テンプレートをアクティブにします。



- (注) SDM テンプレートには、テンプレートの一部として定義されているコマンドのみが含まれています。テンプレートで定義されていない別の関連コマンドがテンプレートで有効になっている場合、**show running config** コマンドを入力すると、該当するコマンドが表示されます。たとえば、SDM テンプレートで **switchport voice vlan** コマンドが有効になっている場合、(SDM テンプレートでは定義されていませんが) **spanning-tree portfast edge** コマンドも有効にすることができます。

SDM テンプレートを削除すると、そのような他の関連するコマンドも削除されるため、明示的に再設定しなければなりません。

## カスタマイズ可能な SDM テンプレートの確認

適用されるカスタマイズ可能な SDM テンプレートを確認するには、次のコマンドを使用します。

表 1: カスタマイズ可能な SDM テンプレートを確認するコマンド

コマンド	説明
show sdm prefer custom	カスタマイズ可能な SDM テンプレートの機能に適用されるカスタム値を表示します。
show sdm prefer custom user-input	カスタマイズ可能な SDM テンプレートでユーザが入力した値を表示します。
show sdm prefer	現在アクティブなカスタマイズされた SDM テンプレートを表示します。

カスタマイズ可能な SDM テンプレートのいずれかの機能にゼロのスケール値が割り当てられた場合、デバイスがリロードされた後、その機能は **show sdm prefer custom** コマンドの出力に表示されません。

## SDM テンプレートの設定例

### 例：SDM テンプレートの表示

次に、詳細なテンプレート情報を表示した出力例を示します。

```
Device# show sdm prefer advanced
Showing SDM Template Info

This is the Advanced template.
Number of VLANs:                               1024
Unicast MAC addresses:                         16384
Overflow Unicast MAC addresses:                256
L2 Multicast entries:                         1024
L3 Multicast entries:                         1024
Overflow L3 Multicast entries:                256
Directly connected routes:                    8192
Indirect routes:                              3072
STP Instances:                                128
Security Access Control Entries:              1408
QoS Access Control Entries:                   1024
Policy Based Routing ACEs:                    512
Netflow Input ACEs:                           128
Netflow Output ACEs:                          128
Ingress Netflow ACEs:                         128
Egress Netflow ACEs:                          128
Flow SPAN ACEs:                               256
Tunnels:                                       128
LISP Instance Mapping Entries:                 128
Control Plane Entries:                        512
Input Netflow flows:                          8192
Output Netflow flows:                         8192
SGT/DGT (or) MPLS VPN entries:                2048
SGT/DGT (or) MPLS VPN Overflow entries:       256
Wired clients:                                2048
MACSec SPD Entries:                           128

These numbers are typical for L2 and IPv4 features.
Some features such as IPv6, use up double the entry size;
so only half as many entries can be created.
* values can be modified by sdm cli.
```

次に、VLAN テンプレート情報を表示した出力例を示します。

```
Device# show sdm prefer vlan
Showing SDM Template Info

This is the VLAN template for a typical Layer 2 network.
Number of VLANs:                               1024
Unicast MAC addresses:                         16384
Overflow Unicast MAC addresses:                256
L2 Multicast entries:                         1024
L3 Multicast entries:                         1024
Overflow L3 Multicast entries:                256
Directly connected routes:                    4096
```

```

Indirect routes:                2048
STP Instances:                  128
Security Access Control Entries: 1408
QoS Access Control Entries:     1024
Policy Based Routing ACEs:      512
Netflow Input ACEs:             128
Netflow Output ACEs:           128
Ingress Netflow ACEs:          128
Egress Netflow ACEs:           128
Flow SPAN ACEs:                 256
Tunnels:                        128
LISP Instance Mapping Entries:  128
Control Plane Entries:         512
Input Netflow flows:           8192
Output Netflow flows:          8192
SGT/DGT (or) MPLS VPN entries:  2048
SGT/DGT (or) MPLS VPN Overflow entries: 256
Wired clients:                  2048
MACSec SPD Entries:            128

```

These numbers are typical for L2 and IPv4 features.  
Some features such as IPv6, use up double the entry size;  
so only half as many entries can be created.  
\* values can be modified by sdm cli.

## 例：SDM テンプレートの設定

```

Device(config)# sdm prefer advanced
Device(config)# exit
Device# reload
Proceed with reload? [confirm]

```

## SDM テンプレートに関する追加情報

### 関連資料

関連項目	マニュアル タイトル
この章で使用するコマンドの完全な構文および使用方法の詳細。	<i>Command Reference (Catalyst 9200 Series Switches)</i>

## SDM テンプレートの機能履歴

次の表に、このモジュールで説明する機能のリリースおよび関連情報を示します。

これらの機能は、特に明記されていない限り、導入されたリリース以降のすべてのリリースで使用できます。

リリース	機能	機能情報
Cisco IOS XE Fuji 16.9.2	SDM テンプレート	標準のSDMテンプレートを使用すると、システムリソースを設定して、特定の機能のサポートを最適化できます。

Cisco Feature Navigator を使用すると、プラットフォームおよびソフトウェアイメージのサポート情報を検索できます。Cisco Feature Navigator には、<http://www.cisco.com/go/cfn> からアクセスします。